

第5部 公共交通ネットワーク

第5部 公共交通ネットワーク

1 立地適正化計画における公共交通ネットワークの役割

本市の推進する、『多極ネットワーク型のコンパクトシティ』を実現するためには、集落から拠点（市街地）への移動手段、拠点内における都市機能への移動手段としての公共交通ネットワークの維持・充実、極めて重要です。

2 公共交通ネットワークの検討方針

本市の公共交通ネットワークに関しては、「第2次田原市地域公共交通戦略計画（地域公共交通網形成計画）」に基づき、交通事業者や市民代表等で構成されている「田原市地域公共交通会議」において検討します。

3 公共交通ネットワークの確保方針

本計画において、公共交通軸と位置付けられている渥美線（鉄道交通軸）、豊鉄バス（伊良湖本線・支線）においては、交通事業者等との連携により、利便性向上や利用促進に努めることにより、運行の維持・サービス水準の充実を図ります。特に、伊良湖支線については、運行頻度が少ないことから、増便を検討します。

集落から拠点（市街地）への移動、市街地内での移動に際しては、主に集落と市街地を結んでいるコミュニティバス（田原市ぐるりんバス）の維持・充実はもちろんですが、それらを補完するタクシーや福祉有償運送等においても、事業者と連携・役割分担をしながら、維持・充実を図ります。

公共交通網形成概念図



出典：第2次田原市地域公共交通戦略計画